

中国による台湾併合への意欲が急速に露わになりつつある。今年1月2日、「台湾同胞に告ぐる書」発表40周年記念大会において習近平総書記は、「一つの中国」原則を堅持し、「武力の使用を放棄する」と約束せず、あらゆる必要な措置を取る選択肢を保有する」と明言した。加えて「九二共识」(1992年コンセンサス)に立脚し「一国二制度」をもつて中台統一を図る、という方針を改めて提起した。3月の全国人民代表大会での李克強首相の政府活動報告も同趣旨を繰り返した。

## 中台関係を縛る「幻の合意」

九二共识とは、中台の民間窓口機関による合意であり、双方が「一つの中国」(一個中国)の原則を守るもの。台湾側はその解釈は双方異なる(各自表述)。中国側は文字通りの一個中国を堅持するというものであった。といわれる。合意文書は存在しない。当時の總統李登輝氏も台湾側窓口の代表辜振甫氏も共識の存在それ自身を認めていない。「幻の合意」なのだが、中国はこれを中台

に立脚し「一国二制度」をもつて中台統一を図る、という方針を改めて提起した。3月の全国人民代表大会での李克強首相の政府活動報告も同趣旨を繰り返した。

## 中台関係を縛る「幻の合意」

米国の国内法「台湾関係法」の存在ゆえである。米国は1979年の米中国交樹立、米台断交の直後、同年4月に台湾関係法を制定、1月1日に遡及して同法施行を宣言した。「合衆国の法律は1979年1月1日以前と同様に適用されねばならない」というのが現状変更には対抗、米の決意

今年は台湾関係法の制定から40年である。米国は2017年12月に発表した「国家安全保障戦略」において「われわれの一つの中国」(一個中国)の政策と一致する形で、また台湾関係法にもとづいて台湾の合理的な国防上の需要に応え、他からの圧力を阻止するため台湾との関係を維持する」と宣言した。「一つの中国」ではなく「われわれの一つの中国」と表現していることに注目されたい。

## 正論



拓殖大学学事顧問

渡辺 利夫

は対抗するという米国の決意を明示した。

示した。

今年3月19日に米台関係に一つ

クリステンセン代表と台湾の呉釗

即日、一国二制度に「台湾の絶対的多数の民意が断固として反対し

ており、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁するのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

ており、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

ており、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして

譲ることがない。蔡英文総統が習

演説と李報告について、それぞれ

即日、一国二制度に「台湾の絶対

的多数の民意が断固として反対し

おり、台湾がこれを受け入れる

ことは絶対にない」と反論した。

中台において圧倒的に強い軍勢

を擁るのは中国である。中国は

なぜ台湾併合の挙に出ないのか。

関係を律する政治的原則だとして